

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画情報ホームページ掲載事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	04	01	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課		都市計画課		
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全		主管課長		武田 淳		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	開発事業者、建築事業者、市民等	意図	都市計画情報をより容易に提供する。
事業内容	都市計画情報をホームページに掲載し、地番等の属性検索機能を付与することにより、外部から簡単に情報が検索できるようにする。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年9月から運用を開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	閲覧者数		7,666	14,328	人	↑↑↑
②								
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成26年9月から運用を開始。地番での検索や、印刷も可能なことから、1か月当たり1,200人程度の閲覧がある。ホームページによる情報提供により、電話や窓口における照会数は減少傾向にある。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			4,551,200	4,138,200				
事業費(b)(円)			1,096,200	1,879,200				
うち一般財源			1,096,200	1,879,200				
職員給与費(c)(円)			3,455,000	2,259,000				
人役・職員(人)			0.50	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	システムは平成26年度から運用のため周知が行き届かず、電話や窓口での問い合わせをいただくことがあるため、周知を図っていく。	③取組の課題	現在のシステムは、パソコンのみ対応となっている。
②今年度(H27)に実施した取組	窓口でパンフレットを配布するなど、当該システムの周知を図った。	④今後の改善計画	引き続き、システムの周知を図っていくとともに、他の端末でも検索ができるよう、システムの充実を図っていく。